



ほうじゅ 検索

4月中旬以降の主な話題

16・17
& 24

第40回能美学童野球連盟春季大会
兼 芳珠記念病院杯
於：物見山野球場・寺井野球場・
根上野球場

今回で第40回を迎えた能美学童野球大会。
出場した全8チームが熱戦を繰り広げまし
た。天候不良で24日に延期となった決勝戦



を制した寺井学童
野球クラブが昨年
に続き栄冠を手
にしました。

17

菜の花フェスタ
in nomi 2016
於：福岡児童館周辺

ご家族からお預かりした心身に障害のある
お子さんとともに日中を過ごすイベントで、
新入職員を中心にボランティアで参加しま
した。とても風が
強く屋内で過ごす
時間がほとんどで
したが、楽しいひと
時となりました。



5月の主な話題

9

地域連携勉強会「これからの地域
医療・介護を考える～認知症について～」
於：陽だまり棟 B3階 講堂

第一三共株式会社と共催で研修会を開催し
ました。院内外から多数の参加があり、総勢
130名を超える規模となりました。地域の皆
さまとともに学べ
る機会を今後も企
画していきます。



【特別講演】
粟津神経サナトリウム
院長 小林 克治先生

8
14

看護週間パネル展示
於：エントランスホール

看護週間に合わせパネル展示を行いました。
今年、日頃の地域貢献活動や新人看護師
の紹介を行ったほか、当院で活躍するママさ
ん看護師の奮闘
ぶりを紹介しま
した。



ともにはたらく
看護・介護職員を
募集しています!

15

第15回「利家とまつ」
金沢城リレーマラソン
於：金沢城址公園

佐久間院長を筆頭に、有志の職員で参加し
ました。結果は 職場仲間部門 71位 (3時間
20分1秒)で、完走しました。



29

グループホーム陽らら
和気あいあいふれあい会
於：グループホーム陽らら

施設の利用者と近隣住民の交流を目的とし
た「和気あいあいふれあい会」を開催。笑顔
あふれる一日となりました。



27

のみ市民公開講座～明日のために“がん”を知ろう～
於：能美市ふるさと交流研修センターさらい

能美市、能美市医師会共催による市民公開講座が開催され、約80名の参加があり
ました。今回は「食道がん・胃がん」をテーマに、当院の渡辺副院長と金沢医科大学
大学院教授の伊藤 透先生が講演されました。講演に先立ち、当院のがん患者サ
ロン「ほんわか」の紹介を行いました。



金沢医科大学病院
消化器内視鏡科教授
伊藤 透先生

ほうじゅグループ

能美市

- 芳珠記念病院
- 居宅介護支援事業所
- ほうじゅ訪問看護・リハ
ステーション緑が丘

- 介護老人保健施設 陽翠の里
- 訪問介護事業所 ビジットケアひすい
- 小規模多機能型居宅介護事業所
コミュニケア緑が丘
- 高齢者対応型賃貸住宅
コレクティブハウス緑が丘
- 福祉用具貸与事業所 ライフケア芳珠
- ライフケア芳珠 サテライトショップ

小松市

- グループホーム 陽らら

ほうじゅグループのモットー「和楽仁」

仲よく楽しく 人と社会を健康に

芳珠記念病院の基本方針

1. 地域医療を担う病院として、
当院に関わる皆様の生涯の
健康を支えます。
2. 心のふれあいを大切に、
安心できるパートナーシップ
を築きます。
3. 利用される皆様の権利を尊重
し、十分な説明と同意のもとに、
参画できる医療を提供します。
4. 救命救急から慢性疾患まで
最新の科学的根拠に基づく
安全で的確なチーム医療を
多職種協働で提供します。
5. 地域との交流を大切に、社会
保障の向上と経済の振興に
取り組みます。

編集後記

4月14日に発生した熊本地震
は、甚大な被害をもたらし、今
もなお不安な状況が続いてい
ます。被災された皆さまに心か
らお見舞い申し上げますと
ともに、被災地域の日もはやい復興
をお祈りいたします。

今回の特集ではライフケア
ワーカーを紹介しました。入院
患者さんの高齢化が進む昨今、
とても重要な役割を担う職種と
いえます。当院では、ライフケア
ワーカーの人材を随時募集して
おりますので、興味のある方は
人事課までご連絡ください。

芳珠記念病院
ヤッ芳 2016年 No.143
発行：2016.6.10

ヤッ芳

平成28年熊本地震に際し、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。
被災地域の日もはやい復旧・復興をお祈りいたします。
当院として、でき得る限りの支援を行ってまいります。

芳珠記念病院 院長 佐久間 寛

災害時に全国の郡市医師会を単位に編成される「日本
医師会災害医療チーム」(JMAT: Japan Medical Associ
ation Team)として、当院から医療チームを派遣しました。
当院のJMAT派遣は、平成23年の「東日本大震災」の際に
4チームを派遣して以来となります。

4月22日に、陸路、空路に別れて現地入りし、翌23日から
26日にかけて活動を行いました。他県の医療チームと分担
しながら避難所の定期巡回を行い、必要な医療の提供、
感染症対策、様々な心身機能低下への対応、心のケアなど
を実施してきました。

当院医療チームの派遣は終了しておりますが、現地では
まだ必要とされる支援があります。当院として、でき得る限
りの支援を続けたいと考えています。



派遣チーム

医師：吉光 裕
研修医：清水 奨太
看護師：東 康子
薬剤師：中川 貴史
事務：下崎 哲也

2016年 初夏号コンテンツ

P2-3 特集ページ

“くらし”を支えるエキスパート
ライフケアワーカーのお仕事

CONTENTS

P4 【ほうじゅグループニュース】Pick up!

院内の最近の話題

入院中の
くらしを支えるエキスパート

ライフケアワーカーのお仕事

●ライフケアワーカーとは？

看護局の介護部に所属するスタッフで、昨年4月に「看護補助者」から呼称を変更しました。介護分野の専門職として各病棟に配属され、医師や看護師など多職種とともに患者さんやご家族が抱える問題の解決に取り組んでいます。

●主な役割と担当する業務

入院は「治療の場」であるとともに「生活の場」でもあります。入院によって患者さんの暮らし方が途切れることのないよう、「暮らしの質」を支える役割を担っています。



担当する業務

生活援助や介護指導・多職種カンファレンス参加
生活環境の整備・趣味や余暇の過ごし方のお手伝い など

ライフケアワーカーより
「ライフ」を支える専門職として

ライフケアワーカーの「ライフ」には、「くらし」「人生」「生命」といった意味があります。入院中のお世話だけでなく、「ライフ」を支える専門職として、「もとの生活に戻れるよう」「望む生活に近づくよう」「地域で安心して暮らせるよう」患者さんとのコミュニケーションを通して問題を把握し、自立支援を行います。両脇に薄いグリーンの配色が入った制服が目印です。お気軽にお声掛けください。

写真後列中央
看護局介護部
ライフケアワーカー係長
須貝 美夏
(B1階地域包括ケア病棟)

看護師より
多職種のよきパートナーとして

治療現場では見えにくい「生活の場」の問題。それらを把握するには、ライフケアワーカーの視点は欠かせません。近年の高齢化に伴い、治療だけでは解決できない様々な問題を抱える方が増加しています。退院後の生活をより良いものにするために、患者さん、ご家族はもちろん、私たち看護師を含む多職種のよきパートナーとして、ライフケアワーカーが担う役割は年々重要になっています。

写真前列左から
看護局看護部
看護師長 内匠 薫
(B1階地域包括ケア病棟)
看護師長 坂田 美紀
(4階地域包括ケア病棟)

●ライフケアワーカーに必要な資格

必要な資格は特にありませんが、当院で活躍する約40名のライフケアワーカーのうち、半数以上が介護福祉士です。資格を有していないスタッフも必要な研修を履修し、自己研鑽に努めています。当院では、資格取得のための支援体制も整えています。



介護福祉士とは

介護・福祉分野の国家資格。利用者の身の回りの介護はもちろん、生き方や生活全体にかかわりながら暮らしを支え、利用者・家族と共に自立を目指した支援を行う。福祉サービスの充実・向上の担い手として活躍が期待されている。

●一日の業務の流れ (例：地域包括ケア病棟、病棟の機能によって内容は異なります)

- 1 時刻
- 2
- 4
- 6
- 8 日勤
- 10
- 12
- 14
- 16
- 夜勤
- 18
- 20
- 22
- 24

夜間～午前の時間帯

- ・ ナースコール対応
- ・ 体位交換
- ・ 食事の準備、介助
- ・ 環境整備
- ・ シーツ交換
- ・ 入浴の介助
- ・ トイレの介助、オムツ交換
- ・ 必要な動作介助など



介助の際の POINT

介助を行う際の注意点は、ベッドサイドにあるピクトグラムという視覚記号(絵文字)を用いて、生活動作の専門家である作業療法士と共有しています。

入院患者さん対象の 院内デイサービス 於：B1階地域包括ケア病棟

現在は、毎週木曜日
午前10時～11時半
に開催しています。



院内デイは、ライフケアワーカーと看護師、作業療法士が中心となって運営しています。趣味のお手伝いなどを通じて入院中の生活リズムを整え、認知機能や日常生活動作機能の維持に成果をあげています。特に高齢の患者さんの入院生活においては、治療とともに大切な時間になります。

午後～夜間の時間帯

- ・ ナースコール対応
- ・ 体位交換
- ・ 食事の準備、介助
- ・ 環境整備
- ・ 入浴の介助
- ・ トイレの介助
- ・ オムツ交換
- ・ 必要な動作介助など



他職種との息もピッタリ♪

看護師 ライフケアワーカー